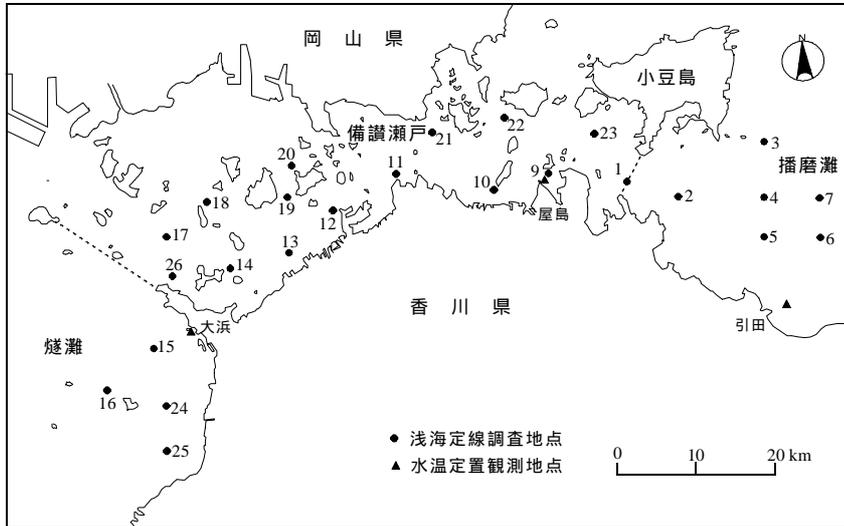


# 香川県漁海況速報 平成16年 5月 (H16- 2号)

香川県水産試験場

## 1. 海況

### 1) 観測地点



### 2) 浅海定線調査

#### (1) 調査日

平成16年5月7日(播磨灘)、6日(備讃瀬戸、燧灘)

#### (2) 水質概況

平年と比較すると、水温は「やや高めから著しく高め」、塩分は「平年並みからやや高め」、透明度は「かなり低めから平年並み」、溶存酸素は「かなり低めからやや低め」であった。

		水温 (°C)			塩分 (PSU)			透明度	溶存酸素 (ml/l)	
		表層	10m層	底層	表層	10m層	底層	(m)	表層	底層
播磨灘	7地点平均値	15.0	14.0	13.1	32.7	32.7	32.7	9.7	5.49	5.26
	平年値	14.0	13.2	12.1	32.2	32.2	32.4	9.3	6.14	5.54
	平年偏差	0.9	0.8	1.0	0.5	0.5	0.4	0.4	-0.65	-0.28
	状況	やや高め	やや高め	かなり高め	やや高め	やや高め	やや高め	平年並み	やや低め	やや低め
備讃瀬戸	14地点平均値	15.5	15.3	15.3	32.9	32.9	32.9	4.0	5.14	5.14
	平年値	14.0	13.7	13.8	32.4	32.5	32.7	5.9	5.69	5.66
	平年偏差	1.4	1.6	1.4	0.5	0.5	0.2	-1.9	-0.55	-0.52
	状況	著しく高め	著しく高め	著しく高め	やや高め	やや高め	平年並み	かなり低め	やや低め	やや低め
燧灘	4地点平均値	16.8	15.2	14.0	33.3	33.4	33.5	8.8	5.29	4.43
	平年値	15.6	13.5	12.5	32.6	32.9	33.1	10.6	5.80	5.27
	平年偏差	1.2	1.7	1.5	0.6	0.5	0.4	-1.8	-0.51	-0.84
	状況	やや高め	著しく高め	著しく高め	やや高め	やや高め	やや高め	やや低め	やや低め	かなり低め

平年偏差 = 平均値 - 平年値

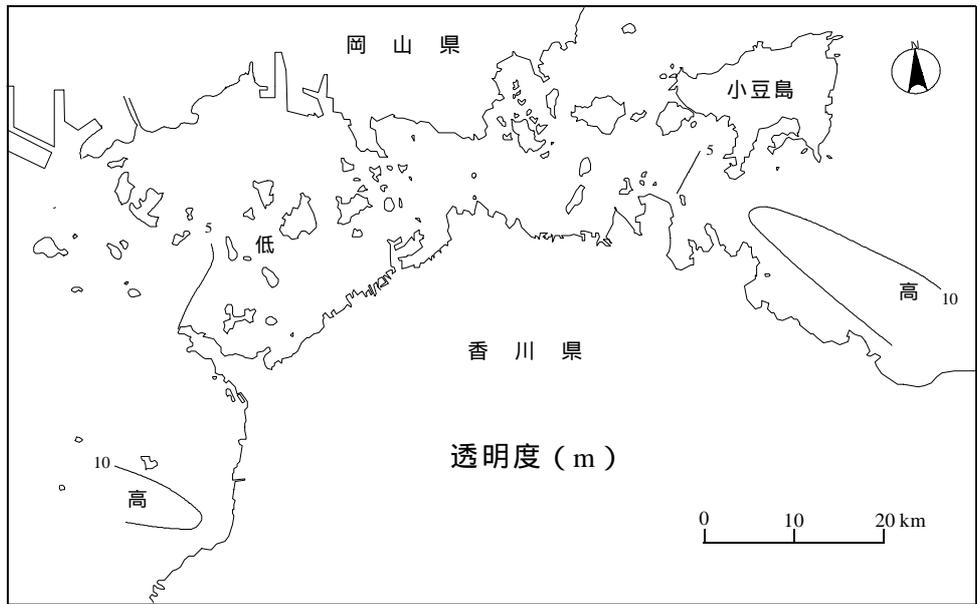
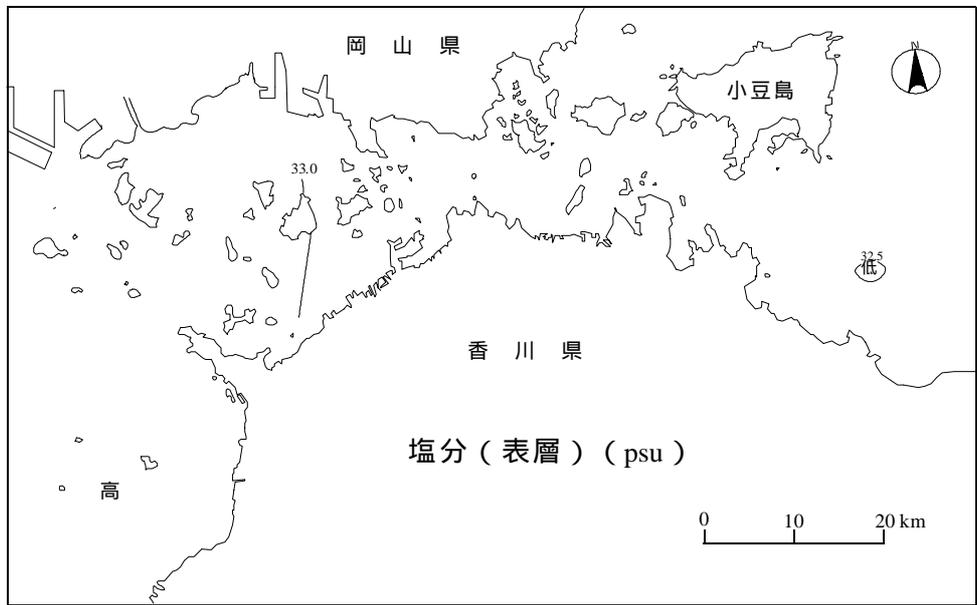
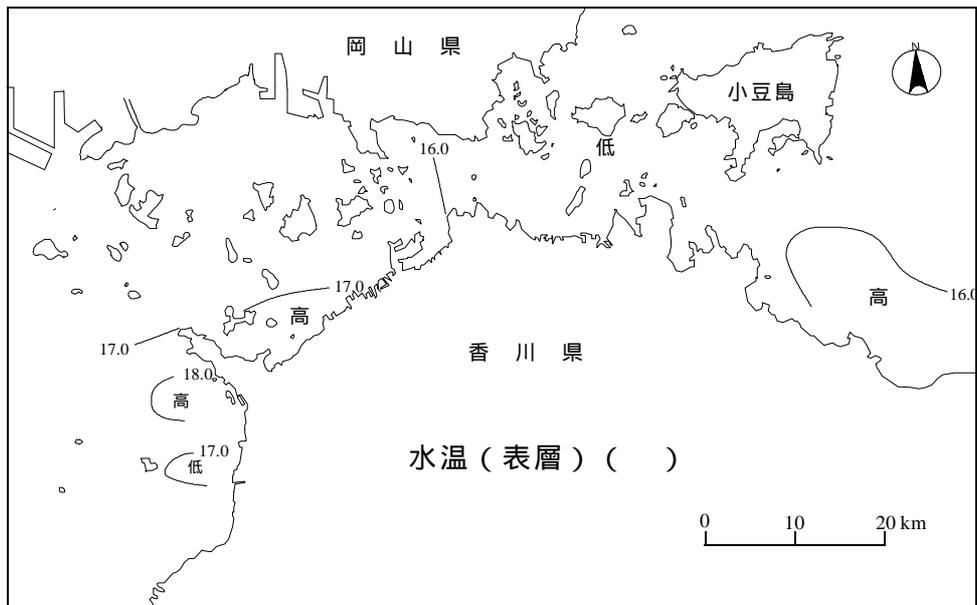
平年値の算出期間 水温及び塩分：昭和47(1972)～平成13(2001)年度

透明度：昭和58(1983)～平成13(2001)年度

溶存酸素：昭和55(1980)～平成9(1997)年度

水温は、毎月1日の値に補正。

平年並み	0	平年偏差 < 0.6	( : 標準偏差)
やや高め(やや低め)	0.6	平年偏差 < 1.3	
かなり高め(かなり低め)	1.3	平年偏差 < 2.0	
著しく高め(著しく低め)	2.0	平年偏差	



## 2) 定置観測(水温)

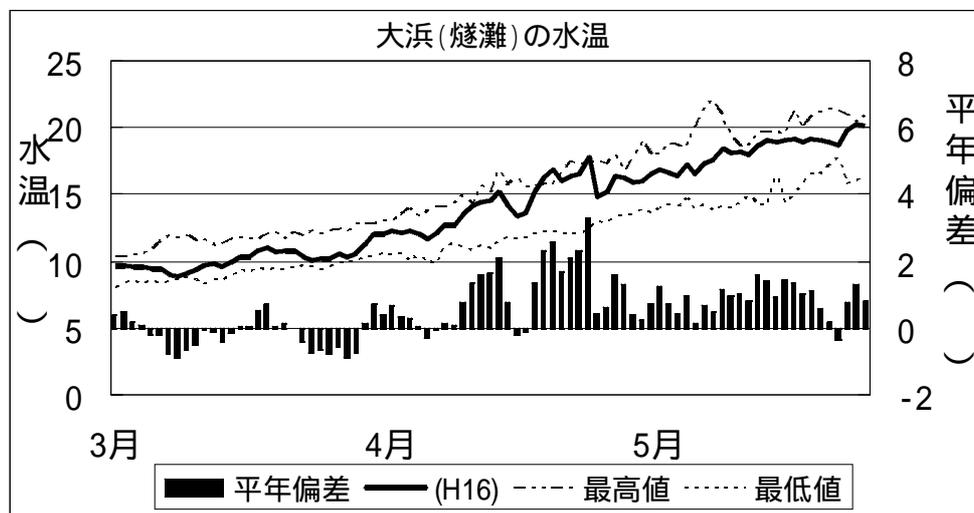
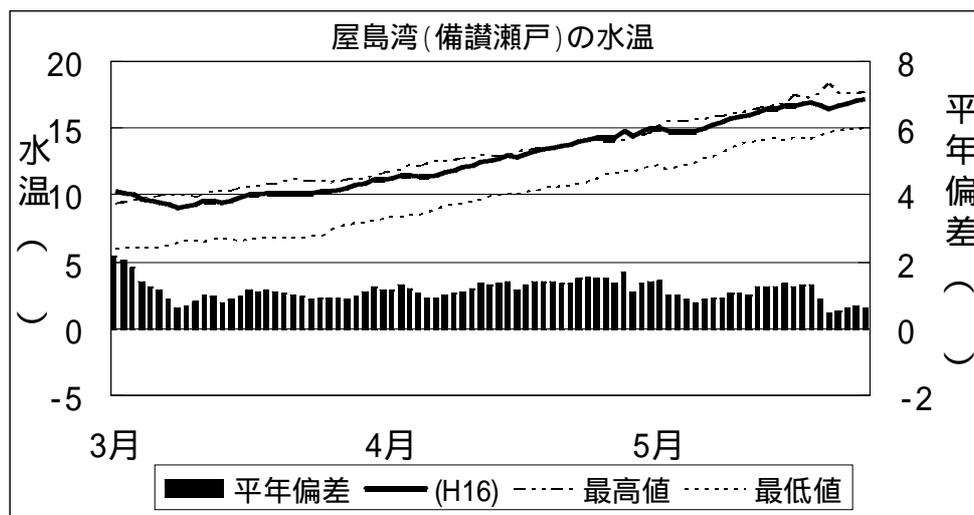
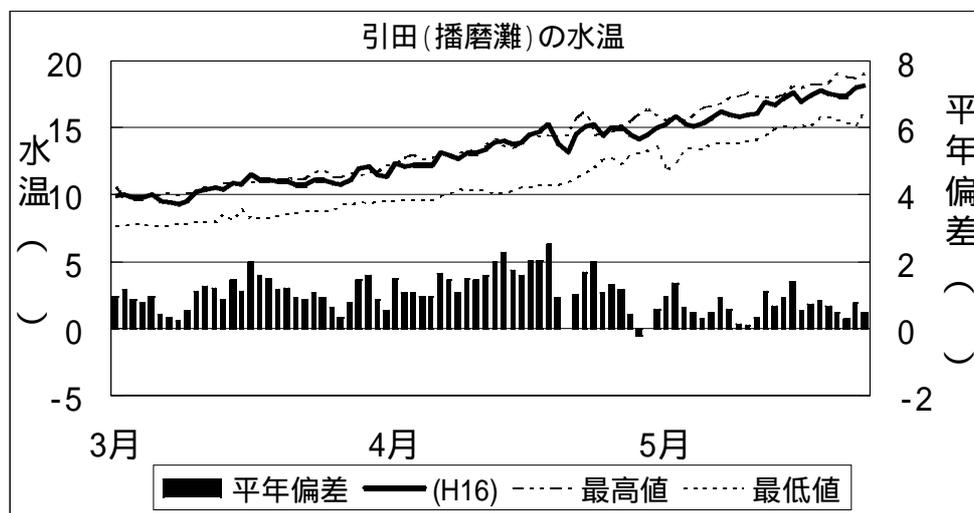
播磨灘(引田): 4月は平年偏差が2前後で推移していたが、5月に入り偏差が小さくなり、1前後で推移している。

備讃瀬戸(屋島): 4月は平年偏差が1.3前後で推移していたが、5月に入り偏差が少し小さくなり1前後で推移している。

燧灘(大浜): 4月は平年偏差が0前後から3前後の間変動していたが、5月に入り偏差が小さくなり0前後から2弱の間で推移している。

平年値の算出期間 引田及び大浜:平成元(1989)~平成14(2002)年

屋島:昭和50(1975)~平成14(2002)年



### 3) 赤潮

播磨灘：5月下旬、南部で *Noctiluca scintillans* の赤潮の発生があった。

備讃瀬戸：発生なし。

燧灘：発生なし。

### 4) 卵稚仔

調査日：平成16年5月7日（播磨灘）、6日（備讃瀬戸、燧灘）

出現量

個（尾）/ 曳網

	カタクチイワシ		マイワシ		サワラ		その他の魚類	
	卵	稚仔	卵	稚仔	卵	稚仔	卵	稚仔
播磨灘平均	41.88	3.75	0.00	0.00	0.13	0.00	55.50	6.75
備讃瀬戸平均	3.67	1.33	0.00	0.00	0.20	0.00	39.87	7.27
燧灘平均	271.29	34.14	0.00	0.00	0.00	0.00	11.00	3.43
総平均	76.30	9.63	0.00	0.00	0.13	0.00	37.30	6.23

対平年値

	カタクチイワシ		マイワシ	
	卵	稚仔	卵	稚仔
播磨灘平均	431.3%	1945.9%	0.0%	0.0%
備讃瀬戸平均	393.4%	563.3%	0.0%	0.0%
燧灘平均	761.5%	3434.7%	0.0%	0.0%
総平均	671.1%	2398.0%	0.0%	0.0%

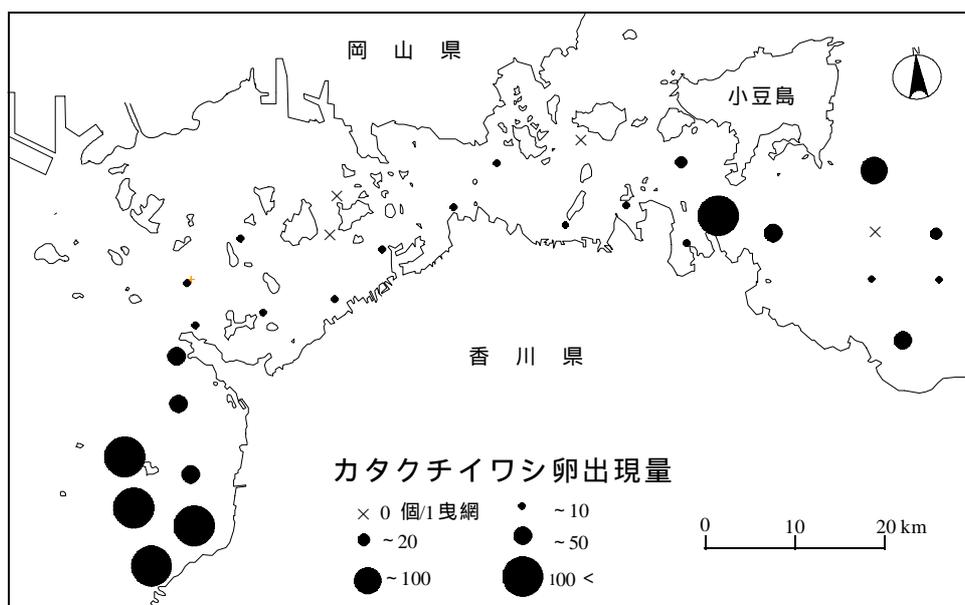
- : 平年値が0の場合を示す。

平年値の算出期間

カタクチイワシ：昭和55（1980）～平成15（2003）年度

マイワシ：平成5（1993）～平成15（2003）年度

各調査点のカタクチイワシ卵の出現量は、次のとおりである。



## 2. 漁況

4月からの漁況は次のとおりである。

海 域	漁 況
播 磨 灘	<p>舩網では主にスズキ、マダイ、ぼら類、コウイカ類が漁獲されているが、ウマヅラハギが前年に比べて少ない。</p> <p>サワラ流し刺し網は4月25日から操業が開始され、2才魚主体に豊漁が続いている。</p>
備 讃 瀬 戸	<p>底びき網では主にウシノシタ類、メイタガレイ、イイダコ、テナガダコ、マアナゴが漁獲されている。</p> <p>高松・庵治沖のイカナゴ込網の4月の漁獲は、フグ、イカ主体の漁になったこともあって、イカナゴの漁獲量は7.8トンで前年の2%と不漁であったが、トラフグは13.8トンで前年の1.7倍と好漁であった。</p>
燧 灘	<p>底びき網では主にシャコ、コノシロ、トカゲエソ、マナマコが漁獲されている。</p> <p>舩網ではマダイ、ウマヅラハギ、スズキ、ヒラメ、コウイカ類が漁獲されている。</p> <p>さより機船船びき網は漁期当初の200kg/日・隻前後の漁獲量が継続しているが、大きさは依然中、小主体で魚価が安い。</p>